

平成筑豊鉄道株式会社第 2 4 期決算について

第 2 4 期は土休日ダイヤを導入し収益改善を図った結果、当初は順調な経営状況でしたが、平成 2 4 年 7 月 1 4 日の九州北部豪雨により、田川線崎山～田川伊田間が 2 ヶ月近くの間不通となり、減便・バス代行を行うなどしたため、お客さまが減少するとともに、多額の復旧費用を要することとなりました。このため、第 2 4 期は、会社発足以来初めて純損失が 1 億円を超える赤字決算となりました。

- 1 「旅客運賃収入」は、豪雨災害による運休・減便の影響によりお客さまが減少したことから、前期より 2 8, 6 9 1 千円減少して、3 1 8, 0 1 1 千円となりました。（対前期比 8. 3%の減）
- 2 「営業費用」は、土休日ダイヤの導入により、動力費・人件費が減少したものの、豪雨災害の復旧費用及びバス代行に多額の費用を要したことより、前期より 1 5 2, 1 5 6 千円増加して、6 4 1, 6 5 5 千円となりました。（対前期比 3 1. 0%の増）
- 3 上記の結果、「営業損失」は 2 7 5, 8 1 1 千円の赤字となりました。これに対して災害対策復旧費用に係る国及び県の補助金、被災した施設に対する土木構造物保険の保険金収入及び「経営安定化助成金」による沿線自治体の支援等を受けました。しかし、「当期純損失」は 1 0 1, 4 3 6 千円となり、会社発足以来、最大の赤字決算となりました。（前期は 2 3, 9 3 5 千円の黒字）
- 4 このような中、本年 2 月には伊田線直方～金田間が開通 1 2 0 周年を迎えました。また 1 0 月には会社発足から 2 5 年目に入ります。今年度も 1 2 0 周年記念イベントをはじめ、お客さまの確保と増収に努めてまいります。

損益計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

科 目	金 額 (円)	
【営業損益】		
1(純売上高)		
旅客運賃収入	318,010,896	
構内営業等収入	47,832,977	365,843,873
2(売上原価)		0
売上総利益		365,843,873
3(販売費及び一般管理費)		
人件費	247,610,646	
修繕費	220,917,445	
その他費用	144,348,955	
租税公課	15,704,651	
減価償却費	13,073,453	641,655,150
営業損失		275,811,277
【営業外損益】		
1(営業外収益)		
事務費補助金収入	6,771,000	
受取利息	400	
雑収入	167,777,101	174,548,501
2(営業外費用)		
支払利息割引料	868,955	868,955
経常損失		102,131,731
【特別利益】		
補助金等収入	158,410,292	158,410,292
【特別損失】		
固定資産圧縮損	44,953,130	
固定資産除去損	231,917	
特別損失	111,712,110	156,897,157
税引前当期純損失		100,618,596
法人税、住民税及び事業税		817,300
当期純損失		101,435,896